

■ **島津龜寿** 島津家久の正室。九州討伐で人質のうえ、正室ながら別居になるが、世嗣決定権利保持して意地を示した。

しまづかめじゅ

比叡山焼討・1571 = 島津義久の三女に生まれる。

三方原の戦・1572 = 1歳：母(種子島時堯の娘)が死去。

室町幕府滅亡1573 = 2歳：

石山合戦終・1580 = 9歳：

本能寺の変・1582 = 11歳：

バテノ追放令 1587 = 16歳：豊臣秀吉の九州征討による島津家降伏で、母・妹らと人質として秀吉のもとに送られ、のち義久も上洛、刀狩海賊取締1588 = 17歳：義久一人帰国を許され、娘龜寿との別離を悲しみ"二世とはちぎらぬものを親と子のわかれむ袖のあはれをも知れ"と詠み、細川幽斎に送る。秀吉はこの話を幽斎から聞き、父の心情を哀れみ、龜寿の同行を許す。

義久は男子に恵まれず、2女はすでに結婚、龜寿に婿を迎え島津家の正統を継がせねばならなかったため、
・・・・・・・・1589 = 18歳：義久の弟義弘の二男久保と結婚したが、

秀吉全国統一1590 = 19歳：久保は小田原北条氏攻めに駆り出され、

文禄の役・1592 = 21歳：続いて、秀吉命で朝鮮に渡り、

方広寺大仏殿1593 = 22歳：久保は朝鮮で病死。

バツ島通交・1594 = 23歳：秀吉命で、家督となった久保の弟家久に、再嫁。

秀吉治世中は主に大坂に住み、

豊臣秀吉死・1598 = 27歳：

前田利家没・1599 = 28歳：心労からか、一時病臥するも、回復。

関ヶ原の戦・1600 = 29歳：*関ヶ原の戦が始まると、島津義弘らに従い、島津家系図を持って大坂を脱出し、鹿児島に帰還。

歌舞伎始・・・1603 = 32歳：江戸幕府確立後は、江戸桜田藩邸に住む。

藩主の正室であったが夫家久とは別居。

家康駿府退隠1607 = 36歳：

実子ができず、

山田長政渡航1611 = 40歳：*父義久が死去して、大隅国分に隠居、窮乏生活送る間、

家久は数人の側室との間に男女16人ずつ計32人の子女をもうけて行く。

それまで系図を夫家久にも渡さず世嗣決定の権利を保持し続けてきたが、
徳川家康没・1616 = 45歳：この年、島津忠清女が家久の次男を出産、

のちに光久となると、

徳川家光將軍1623 = 52歳：

バテ断交・1624 = 53歳：*光久との対面の時はじめて系図を譲った。光久を養子として世子の嫡母という形をとったのである。

寛永寺創建・1625 = 54歳：

19年間国分に居住したが、

寛永禁書令・1630 = 59歳：体調を崩して病臥し、没した。
一般には持明夫人という。